

# 西山で八重咲きのキクザキイチリンソウを見つける

安達 ユリ子

春になると新聞やテレビなどで毎年雪割草の話題でもちきりになります。その中に八重咲きとか、黄色の花があるとか、それは高価なものだと聞いています。

私が雪割草をよく見に行く山は、長岡市の西方に連なる通称西山で、雪割草の自生をまだ多くの人の知らない場所らしく、見渡す限り紫、うす紫、ピンク、赤色、特に紫色系を中心に、白が少なく花の色も濃く群生しています。足の踏場がないとは、この事かと……。もしかしたら、あの広い山の中に1本や、2本珍しい形態の雪割草があるかもしれない。いや絶対にあると信じて、1988年3月中旬頃だと思います。心浮き浮きと出かけました。初めはちょっときつい山を登り、チラホラと雪割草が見えてきたのです。(オヤッアー?) なにこれは。(見つけたぞ!!) 心の中は、いや頭の中もボーとしてしまいました。胸もドキドキ。足元が悪い場所ですべるのでふんばりながら。

そこには白い八重咲きが一輪、その先にも、その下にも、あそこにも、全部で12・3本ありました。こんなに沢山あるなんて、きっと黄色の雪割草もあるにちがいないと。でもよく見ると葉っぱが違うのです。キクザキイチリンソウの葉っぱに似ているようなのです。

数少ない私の本の中には、この花は見覚えがないのです。それにしても珍しいと写真に撮り、2本は根をつけ1本は折って、家に持ち帰りました。いくら調べても私には分かりません。いつもいろいろと教えていただいている西山さんに電話をしましたところ、忙しい人なのに「ぜひ見せて下さい。もしかすると新種かもしれませんよ」と。その写真は右のものです。

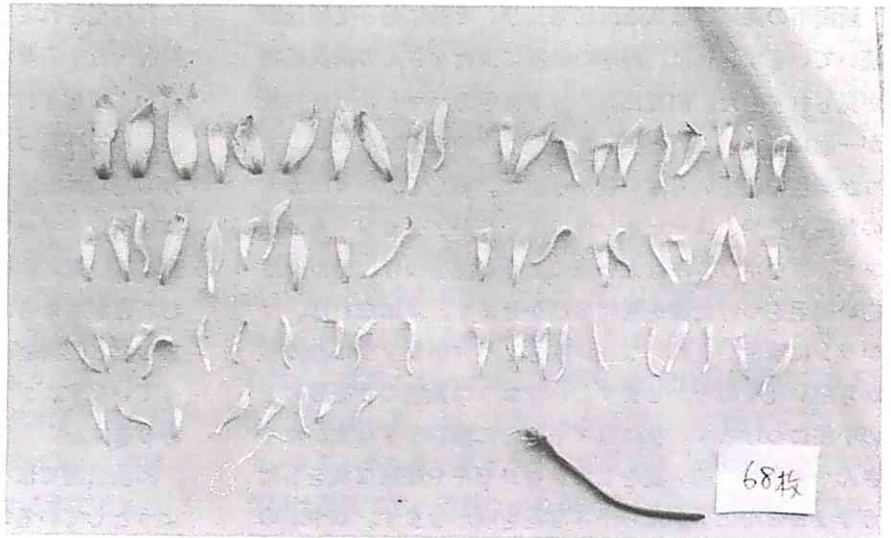


写真1 花弁状のがく片が68枚

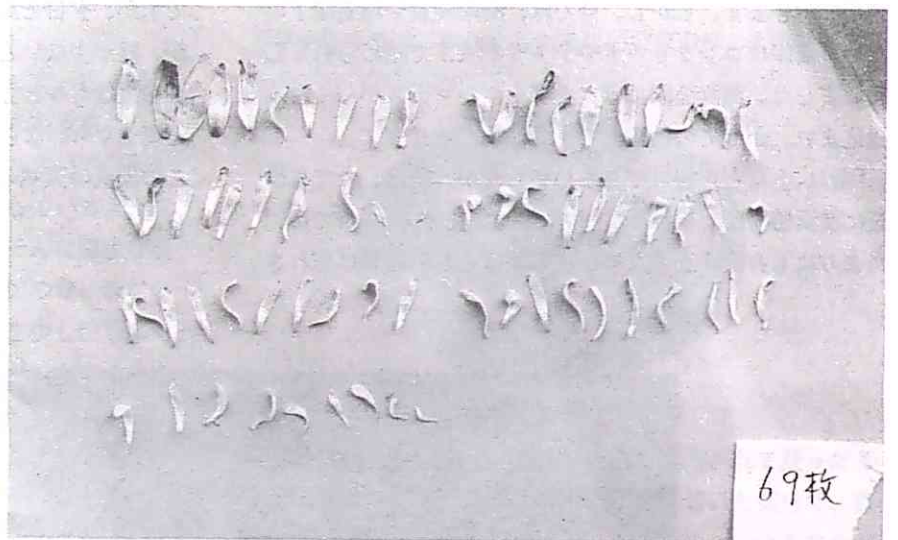


写真2 花弁状のがく片が69枚



写真3 花弁状のがく片が85枚